

ひらい
小9 豊田市立平井小学校

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

心豊かで、たくましく、希望をもって生活する次のような児童像の実現を図る。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 「ね」ねばり強い子 | [真剣に学ぶ子・進んで働く子] |
| 「れ」れいき正しい子 | [あいさつをする子・きまりを守る子] |
| 「か」からだをきたえる子 | [元気に遊ぶ子・進んで運動する子] |
| 「て」てをつなぐ子 | [親切な子・友達と仲良くする子] |

(2) 経営方針

ア 感動と成就感のある楽しい学校づくりを推進する。

- 子どもが学ぶことや友達といふことが楽しいと感じることのできる学校

イ 「生きる力（豊かな人間性、確かな学力、健康・体力）」を培い、心の居場所を保証する。

- 保護者が安心して子どもを預けることのできる学校

ウ 授業や学校経営等の力量向上を図る。

- 教師が働きがいや生きがいを感じることのできる学校

(3) 本年度の重点目標

ア 明るく生き生きと生活する学校づくり

- (ア) 元気なあいさつや優しく言葉がけのできる習慣づくりに努める。
- (イ) キャリア・パスポートを活用し、自分の持ち味や役割を自覚できるように努める。
- (ウ) 「ねれかて賞」を通して子どもの善行を見つけ、認め、褒めることに努める。

イ 分かる授業づくり

- (ア) 毎時間の学習課題を具体化し、子どもが主体となる授業づくりに努める。
- (イ) 単元を通した学びの見通しをもち、発表時の話型やハンドサイン、グループやペア学習などを通して、伝え合う力の育成を図る。
- (ウ) スキルタイムを活用して、読み書き（計算など）の基礎基本の定着を図る。
- (エ) 新しい学びの様式を推進し、ＩＣＴ機器（タブレット、プロジェクターなど）、図書室、地域の人材・教育資源などを活用した授業づくりに努める。
- (オ) 国際担当教員を中心に外国人児童への日本語指導や教科指導に努める。

ウ 心の教育の充実

- (ア) やまびこ縦割り班活動や異学年交流を推進して、自己肯定感・有用感を高める。
- (イ) 行事や活動を通して感動体験や成就感を味わわせ、責任と思いやりの心を育てる。
- (ウ) 魅力的な教材で自分事として考え、議論する「特別の教科 道徳」の充実を図る。
- (エ) 教育相談活動を充実させ、いじめや児童虐待などの早期発見・対応、解消をする。

エ 健康で安全な生活の充実

- (ア) 手洗い・消毒・うがいを習慣とし、病気にかかるない生活をする。
- (イ) 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活や定期的な歯磨き指導など健康づくり教育に努める。
- (ウ) 栄養教諭と連携して食に関する実践的な指導を推進する。
- (エ) 実践的な危機管理訓練を実施して、的確で安全な行動がとれるように努める。
- (オ) ＳＣや発達センターなどの専門機関と連携して心の健康問題に対処する。
- (カ) 保護者と連携して情報モラル教育の推進に努める。

オ 教職員の多忙化解消（生き生きと元気に働くために）

- (ア) 業務の精選、焦点化を進め、校務分掌の適正化・分散化を図る。
- (イ) 地域・保護者に学校の教育活動・教師の職務を発信し、協力・連携を進める。